

イトーヨーカドーのCSRアクション

クールアース・デー

ライトダウンの取り組み



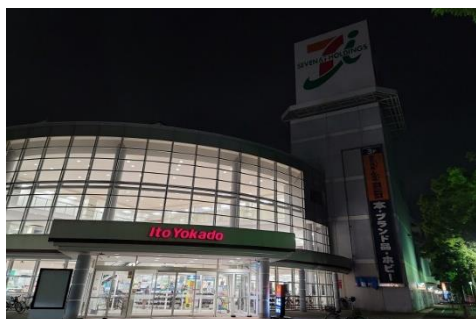
細川 知幸

流山店
管理統括マネージャー

セブン&アイグループでは、環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」の目標の一つとし、「2050年までにCO2排出量実質ゼロ」を目指しています。

その取り組みの一環として、イトーヨーカドー各店舗では、「クールアース・デー」にライトダウンの取組みを行いました。

政府からの節電要請もあり、当日は塔屋、外壁の終日消灯を実施いたしました。



「クールアース・デー」は、2008年のG8サミットが7月7日の七夕の日に開催されたことを契機に、毎年7月7日を「みんなが地球を想う日」として定められました。

これは、天の川を見ながら家庭や職場において地球環境の大切さを日本国民全体で再確認し、低炭素社会への歩みを実感するとともに、それぞれができる地球温暖化対策の取組を推進するための日として設けられました。

イトーヨーカドーはこれからも、地球へ配慮した未来のためにできることを、お客様と一緒に取り組んでまいります。

関連情報

「七夕ライトダウンアクション | セブン&アイ・ホールディングス」
https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/project/lightdown2022_07/index.html?intpr=HP_osirase0627